戦争と茶屋町 新聞

発行者
倉敷市立茶屋町小学校
6年 5組
（長佐たくと）

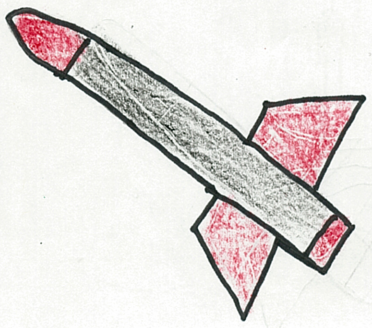
発行日
令和（6）年
（8）月（13）日

日中戦争のはじまり

昭和のはじめごろ世界的不景気が日本もおそい、働きたくても仕事がない人がたくさんいました。若い軍人や学生たちのなかにはそれが不満で軍人のかぜ世の中を変えていこうとする人がでました。そこで起きたのが満州事変です。

満州事変
日本が中国の満州を攻撃し占領したできごと

日中戦争のころの茶屋町

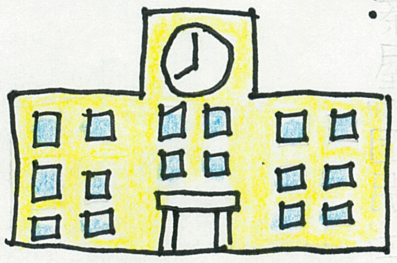


新聞や映画で戦争のニュースをよくするようになり学校ではお国のため天皇陛下のためという教育が行われます。若い人達は召集を受けつぎつぎに戦場へ出かけ毎日のように茶屋町駅でほとんを見送る風景が見られました。この頃はまだ戦争のなかにも平和なふんいきがありました。

茶屋町小学校の名前が変わる!?

昭和十五年から十六年にかけて戦争の色がしだいにこくなってきました。

茶屋町小学校が茶屋町国民学校と名前が変わったのもこの頃です。



太平洋戦争へ

昭和十六年十二月
いよいよ戦争はアメリカ、イギリスなど世界中を相手に太平洋戦争へと広がっていきました。

苦しくなる日本

昭和十八年ミッドウェー海戦で日本はひどく負けたのがきっかけでしだいに負けいくさになってきました。戦争が負けいくさになると戦死する人も多くなり茶屋町駅へ英霊（戦死した人のみたま）を出迎えることが多くなります。

金属供出

家庭から町からも金属と名のつくものは、武器を作るために国に出すようになります。
金比羅様のつりがねも出すことになりました。

この頃の茶屋町

- 昭和十九年 食料不足をおぎなうために茶屋町小学校の校庭がたがやされいも畑になりました。
- 授業中 敵機が来たことを知らせるサイレンがなると授業を途中で止めおもに真知庵に逃げていました。
- 校舎のつが兵舎として使われたこともあったそうです。

終戦へ…

昭和二十年六月二十二日
水島にある飛行機工場がアメリカのB29の攻撃を受け工場破壊
同年六月二十九日夜
岡山市がB29の空襲を受けお内のほとんどが焼かれました。
昭和二十年八月六日 広島へ
同年八月九日 長崎へ原爆がおとされました。
昭和二十年八月十五日 終戦

終戦

編集後記

戦争についてきょう味をもったきっかけは「俺たちの大和」という映画を見たことです。
夏休みに広島の大和ミュージアムと広島平和記念資料館にも行きました。
色々と戦争について勉強してみて戦争を経験した人達はかわいそうだと思いました。
茶屋町だけでも戦争でお父さんをなくした人が200人近くいたそうです。
今僕たちが平和にくらしていけるのは昔の人達のおかげです。
ありがとう